

テーマ叙述編Ⅱ

和泉市の 近世

—第6回配本—

和泉市史編さん委員会 編

和泉市の
歴史 7

第6回配本 和泉市の歴史7 テーマ叙述編Ⅱ

「和泉市の近世」



監修 塚田 孝・町田 哲
仕様 A5判・552ページ・オールカラー
価格 2,000円(税別、送料別)

「和泉市の歴史」刊行計画

全9巻(地域叙述編5巻・テーマ叙述編3巻
通史編1巻)および別編

- 1 地域叙述編 横山
「横山と槇尾山の歴史」 (既刊)2,857円(税別)
- 2 地域叙述編 松尾
「松尾谷の歴史と松尾寺」 (既刊)2,857円(税別)
- 3 地域叙述編 池田
「池田谷の歴史と開発」 (既刊)2,857円(税別)
- 4 地域叙述編 信太
「信太山地域の歴史と生活」 (既刊)2,857円(税別)
- 5 地域叙述編 府中
- 6 テーマ叙述編Ⅰ
「和泉市の考古・古代・中世」 (既刊)2,000円(税別)
- 7 テーマ叙述編Ⅱ 「和泉市の近世」(第6回配本)
- 8 テーマ叙述編Ⅲ 近現代
- 9 通史編
- ◆ 別編「和泉市50年のあゆみ」 品切

日本近世の村方文書・町方文書が豊富に残されていることは、世界各地の歴史家から驚きをもって見られている。これは、先に近世社会の基礎組織として〈村〉と〈町〉が位置づいていると述べたことと深く関わっている。江戸時代には、支配との関係で、検地帳や宗門人別帳などの基本帳簿、年貢の賦課・徴収・受取などの多様な史料が村単位で作成され、また村から届出書、願書が提出されるとともに、村中での取決めなどの文書も作成された。江戸時代の村は豊富な史料を生み出していたのである。(中略)

江戸時代の村で作成された豊富な史料が時を重ねて残されたのは、村の制度と関わっている。〈村〉の運営の中心には、庄屋や年寄などの村役人が位置していた。行政の役場・役所が設けられた近代とは異なり、江戸時代には、村政と村役人個人の家とが分離しておらず、先に記した多様な文書は、庄屋家に家文書と一緒に所蔵された。

「序 村と家を基盤とする時代」より

購入方法

〔和泉市〕下記にてご購入ください。

市役所・文化財振興課窓口、いずみの国歴史館、
信太の森ふるさと館、久保惣記念美術館 ほかに

〔書店〕各書店にてご注文ください。

〔発売元〕下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

〔発行〕和泉市教育委員会 文化財振興課

〒594-8501 大阪府和泉市府中町2-7-5

TEL. 0725-41-1551(代) FAX. 0725-41-0599

〔発売〕株式会社 ぎょうせい

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11

TEL. 0120-953-431【平日9～17時受付】

<https://shop.gyosei.jp>

和泉市の近世 刊行

監修 塚田 孝・町田 哲

目次

序 村と家を基盤とする時代(塚田 孝)

第1部 近世社会の仕組み―基礎単位としての村―(塚田 孝)

- I 村の形と運営
- II 村の諸要素と一九世紀の社会状況

第2部 和泉市域をみわたす

- 1 村むらの領主 / 2 村と集落 / 3 道 / 4 耕地
- 5 水利 / 6 山 / 7 寺院 / 8 神社と座・神職者 / 9 墓所
- コラムI 天保度巡見使(永聖啓子)

第3部 地域を掘り下げる／ひろげる

- 第1章 幕藩領主の所領配置(熊谷光子)
- 第2章 伯太陣屋と藩領の村むら(齋藤祐子)
- 第3章 泉州一橋領知の支配と地域(三田智子)
- コラムII 延宝検地と山・寺社(羽田真也)
- 第4章 元禄四年の寺社改めと寺院・村(羽田真也)
- 第5章 神職者の編成と本所吉田家(山下聡二)
- 第6章 大工組(町田 哲)
- 第7章 堺長吏・非人番と村(塚田 孝)
- 第8章 油の生産と流通(島崎未史)
- 第9章 泉州接待講(町田 哲)

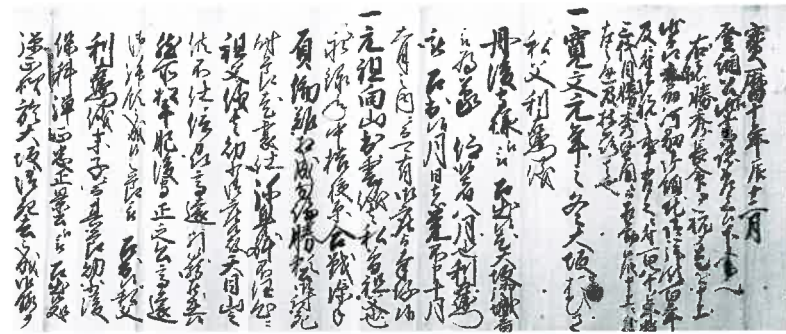
第4部 地域を調べる／見えてくる地域

- 第1章 村の文書管理と引継(町田 哲)
- 第2章 一山寺院をめぐる地域史と「総合調査」(山下有美・塚田 孝)
- 第3章 地域に残る大般若経の調査(竹本 晃)
- コラムIII 仏像調査の意義と仏像移動(吉原忠雄)
- コラムIV 伯太陣屋の発掘(乾 哲也)
- 第4章 合同調査と市域の座(塚田 孝)

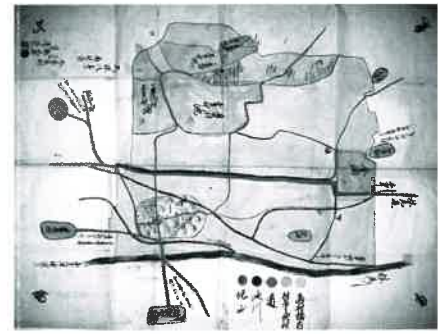
地域の人びとが大切に伝えてきた歴史史料の数々をひも解き、
村むらの姿を明らかにした一冊



重要文化財高橋家住宅(池田下)



伯太藩家中向山家先祖書(向山家文書)



今在家村絵図(前田家文書)



座方歳順書(万町座関係史料)



薬師如来坐像(黒鳥長楽寺)